



UP DATE



■ 2023中欧管きょ工程及び非開削リニューアル国際学術会議

JSTTの会員でもある孫躍平氏からの招聘により、中国安徽省合肥で6月28日～6月30日に開催された「2023中欧管きょ工程及び非開削リニューアル国際学術会議（2023 China-Europe International Conference on Pipelines and Trenchless Technology）」に当協会の森田会長が出席し、「日本における非開削技術の現状」と題して基調講演をされました。

■ 第30回非開削技術講演会

7月4日、当協会技術委員会主催、公益社団法人日本推進技術協会後援により、品川シーズンテラスカンファレンスにて開催しました。概要を「事務局報告」に記載しましたのでご参照ください。

■ ISTT総会

7月25日深夜にオンラインにて開催され、当協会からは平野国際部長がオンラインで出席しました。従来は年1回の開催だったところ、年2回の開催として、年間の活動計画に対する進捗報告を主な目的として開催されました。次回総会は10月16日、メキシコシティにて開催予定となります。

■ 下水道展

8月1日～8月4日、札幌ドームにて「下水道展'23札幌」が開催されました。当協会からは、工法NAVIの掲載企業・団体の出典ブース用にステッカーを配布し、ブース内で掲示していただきました。また、機関誌編集委員会を中心に会員企業のみなさまにご協力をいただき、ブース紹介記事を「国内イベント報告」に掲載しておりますのでご参照ください。

■ (中国・杭州) 中山大学・馬保松教授御一行来訪

8月7日、中国・杭州の中山大学より馬保松教授をはじめとした約10名のみなさまが当協会事務所を来訪されました。「下水道展'23札幌」を始め、日本国内各所を歴訪されるスケジュールの中での立ち寄りとなりました。

当協会の活動を簡単にご紹介したところ、日本国内における非開削技術の開発・普及・拡大状況について、沢山の質問をいただきました。最後に馬先生より、今後の日中交流の活性化に対する期待とともに御礼の御挨拶をいただきました。

■ 非開削技術見学会

9月13～14日に、非開削技術見学会を開催しました。東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所と福島第

二原子力発電所を見学し、東日本大震災による津波による被害、原子力事故の事実、廃炉事業の現状を確認しました。多くの報道がなされているALPS処理水の海洋放出に関する取り組みについて直接学ぶ機会にもなりました。

■ 委員会活動

(1) 技術委員会

9月6日15時より、第101回技術委員会を(公社)日本推進技術協会会議室にてハイブリッドで開催しました。事務局より第30回非開削技術講演会の開催報告を行い、第34回非開削技術研究発表会への発表応募案件の審査、開催準備についての審議をいただきました。

(2) 国際委員会

9月19日13時より、第7回国際委員会をオンラインにて開催しました。10月に開催されるISTT理事会・総会への対応について議論し、議決については事務局にご一任いただくこととなりました。

(3) 機関誌編集委員会

7月10日10時より、第125号機関誌特集記事ワーキングを開催し、特集テーマ「小口径管路の非開削建設技術」の記事執筆依頼先、依頼内容について検討しました。その後、7月12日15時より第21回機関誌編集委員会を(公社)日本推進技術協会会議室にてハイブリッドで開催しました。委員会では、機関誌124号の概要紹介、機関誌125号の特集記事執筆依頼などの準備状況を確認しました。

また、9月1日13時30分より、第126号機関誌特集記事ワーキングを開催し、特集テーマ「大口径管路の非開削建設技術」の記事執筆依頼先、依頼内容について検討しました。

(4) 地下探査技術委員会

8月1日10時より、プレ委員会をオンラインで開催した後、8月23日10時より、第52回地下探査技術委員会を(公社)日本推進技術協会会議室にてハイブリッドで開催しました。委員会では、5月19日に開催された地下探査技術講習会の開催について事務局より報告し、資格認定制度や技能講習をはじめとした今後の委員会活動の方向性についてご審議いただきました。

さらに次回委員会開催に向け、9月11日15時よりプレ委員会をオンラインで開催し、技能講習の開催にむけた論点整理をいただきました。

(5) 工法ナビゲーションシステム運営委員会

9月27日、第69回工法ナビゲーションシステム運営委員会をオンライン方式で開催しました。委員会では、システムの運用状況やシステム改修状況を確認し、今年度のシステム運用・改修計画を中心に審議いただきました。